

2019年2月25日
凸版印刷株式会社

凸版印刷、COOL JAPAN PARK OSAKA に国内最大のおもてなし映像
大阪の新たなエンターテインメントの拠点「COOL JAPAN PARK OSAKA」に
大型 LED ビジョンによる映像空間ソリューション「エクスペリエンスウォール」を提供

凸版印刷(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:金子眞吾、以下 凸版印刷)は、大型 LED ビジョンに超高精細映像を表示して、映像の世界に実際にいるかのように感じられる感動体験型映像空間ソリューション「エクスペリエンスウォール™」を提供しています。

このたび「エクスペリエンスウォール」が、劇場型文化集客施設「COOL JAPAN PARK OSAKA」の2 劇場施設「WW ホール」「TT ホール」のエントランス部分に採用されました。劇場を訪れた人が最初に目にする国内最大級のワイド4K LED ビジョンに、四季折々の大阪城の魅力を伝える高精細映像など様々なコンテンツが配信・放映され、国内外の来場者を「おもてなし」します。



TTホール設置の横 15,360mm 縦 4,352mm の大型 LED ビジョン

COOL JAPAN PARK OSAKA は、2019年2月23日に開業した、キャパシティの異なる3つの劇場「WW ホール」「TT ホール」「SS ホール」を含む劇場型文化集客施設です。こけら落としとなる1日限りの特別公演「さんま・岡村の花の駐在さん」など、バラエティに富んだ大阪ならではの公演が企画され、大阪文化の新たなエンターテインメントの発信拠点として期待されています。

今回、国内外の来場者が劇場を訪れただけでも楽しめるエンターテインメント性と、大阪を何度も訪れたいという情報発信空間として「エクスペリエンスウォール」が高く評価され、COOL JAPAN PARK OSAKA での導入にいたりました。

なお凸版印刷は、大阪および関西全域の文化発信・成長に貢献する COOL JAPAN PARK OSAKA のプレミアムパートナーとして協賛しています。

■ COOL JAPAN PARK OSAKA の「エクスペリエンスウォール」について
<4K LED ビジョンのスペック>

- WW ホールビジョン: サイズ:19,200mm×4,000mm ピッチ幅 5mm (ワイド 4K)
- TT ホールビジョン: サイズ:15,360mm×4,352mm ピッチ幅 4mm (ワイド 4K)

<放映映像>

・大阪城 Experience Gallery (エクスペリエンスギャラリー)

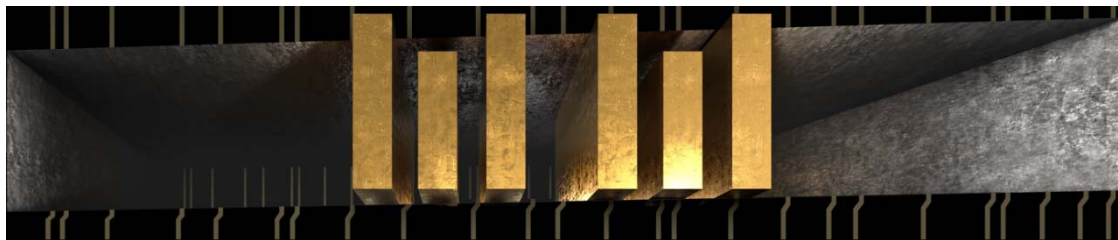
大阪城の四季折々のベストショットをふんだんに織り交ぜた「春」「夏」「秋」「冬」4編、通常は見ることができない空からのダイナミックな映像を見せる「ドローン編」、朝から夜まで1日の美しい移ろいが表現される「タイムラプス編」など、様々な撮影手法で大阪城の魅力を伝える実写映像です。



「大阪城 Experience Gallery」ドローン編（動画）

・Digital Trick Art (デジタルトリックアート)

大型LEDビジョンから実際に映像が飛び出してくるような錯覚を覚える工夫を凝らしたフルCGコンテンツです。「WW ホール」「TT ホール」それぞれ異なるバージョンが放映され、視聴者に対して絶大なインパクトを与えます。



「Digital Trick Art」WW ホールバージョン（CG）

■ 「エクスペリエンスウォール」の特長

・臨場感、没入感のある4K映像

巨大ビジョンの特性と視聴環境に合わせ、映像の中にいるような臨場感と没入感を与える映像を提供します。実写の撮影、編集だけでなく、CG制作も可能です。

・設置環境に合わせたLEDビジョンの提供

これまでの大型LEDビジョンを提供してきたノウハウを活かし、設置環境に最適なLEDビジョンの設計・開発・生産までを一貫で行います。

・ハード導入、コンテンツ制作、運用までワンストップ提供

コンテンツ制作やLEDビジョンの導入だけでなく、コンテンツ配信システムや管理・保守を含めた運用までをワンストップで提供可能です。

■ 「エクスペリエンスウォール」の今後について

凸版印刷は今後も、さらに拡大が見込まれる国内インバウンド市場に対し、日本文化の魅力を伝えるコンテンツ制作と情報発信を通じて、地方創生に向けた観光地域づくりに貢献していきます。

* 本ニュースリリースに記載された商品・サービス名は各社の商標または登録商標です。

* 本ニュースリリースに記載された内容は発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。

以 上